

◆ 本年度の取組及び成果と課題

【知育】 確かな学力を育成するために、主体的・対話的で深い学びの視点に立った「授業力」の向上を追求し、各教科の特性を踏まえた教科指導（分かる、できるようになる授業）を推進する。

1 主な取組

- ◇ 職員の指導力向上のための主題研究の充実
 - ・ N R T、R S Tの分析による課題の明確化及び職員間での共有
 - ・ 明確化した課題を解決するための各教科での研究の実施
 - ・ 「分かる・できる」までを合言葉に、4つのチェックポイントを意識した研究授業の実施（各教諭年1回×6名）
 - ・ 週末課題の工夫（週末は宅習ではなく、教科から指定された課題を行う、タブレット端末の活用）
 - ・ 朝自習で基礎・基本のテストを全教科計画的に実施
- ◇ I C Tを活用した授業の展開（デジタル教科書やタブレット端末の有効活用）
- ◇ 学校図書館の整備（新書の購入、パソコンでの蔵書管理）

2 成果と課題

- 生徒が授業に意欲的に臨んでおり、探究心をもって授業に参加する生徒が増えている。また、友人や先生に分からない所を聞く姿が多く見られるようになった。
- 指示待ちから、自分で考え主体的に取り組めるようになった生徒が多く見られるようになった。
- 学力の個人差が大きい学年もあり、授業の進め方や課題の出し方に関して、教師のさらなる工夫や改善が必要である。

【徳育】 豊かな心を育成するために、共感的な人間関係を基盤にした積極的な生徒指導を行う

1 主な取組

- ◇ 道徳の時間の充実（全学年計画どおり実施）
- ◇ 生徒会が主体となった活動の充実
 - ・ あいさつ運動の推進
 - ・ 花壇の整備等の計画的な実施（フラワー・スマイリー運動）
 - ・ 実行委員を中心とした体育大会や文化発表会の運営
- ◇ 伝統芸能の継承（コロナ感染防止対策の為に中止）と、地域行事への積極的な参加
- ◇ 定期的な学校生活アンケート調査による実態把握
- ◇ 教育相談の充実（各学期1回：年間計3回）
- ◇ ソーシャルスキルトレーニングの活用

2 成果と課題

- 各学年ともに、道徳の授業を確実に実施し心の教育を推進することができた。
- 生徒会執行部が主体的に活動し、あいさつ運動等を推進することができた。また、3年生が中心となって体育大会や文化発表会を盛り上げ、全校生徒が達成感を味わえた。
- 定期的なアンケートや教育相談等の充実により、生徒の悩みを聞き、解決に向けた支援ができた。また、村や児童相談所等の関係機関と連携しながら、生徒に寄り添う支援ができた。
- 今後も人間関係や様々なトラブル等に対して迅速に対応できるよう、絶えず気配りをしていく必要がある。

【体育】 将来の夢や希望を抱いてたくましく生きる力を育成するために、キャリア教育の充実に努めるとともに、健康安全教育と食育への取組を推進する。

1 主な取組

- ◇ 将来の夢や希望を抱く生徒を育成するための、キャリア教育（林業体験学習、思春期福祉体験学習等）の推進及び立志式の充実
- ◇ 生徒が主体となった体育大会の実施
- ◇ 弁当の日の実施（年3回）
- ◇ 給食感謝集会やふれあい会食の実施
- ◇ 部活動指導の徹底と休養日の設定
- ◇ 生徒会によるスポーツの日の設定（週2回）
- ◇ 立志式後にキャリア教育に関しての講演を実施予定

2 成果と課題

- 養護教諭・栄養教諭を中心に計画的に保健指導や食育指導に取り組んでおり、講話など充実した指導を行うことができた。また、防災訓練については、避難経路や避難の仕方などを事前事後指導で徹底し、真剣な雰囲気の中で実施することができた。弁当の日では、家庭科と栄養教諭がT・Tで食育に関しての指導を行い、弁当の日に向けたワークシートの作成を行うことができた。
- 部活動は部員数の確保が厳しい中、生徒は目標をもって毎日の活動に取り組んでいる。
- 生徒会がスポーツの日を週2回設け、各自昼休みにスポーツや屋外活動を通して、積極的に体を動かす生徒が増えた。また、全校生徒全員で1つのスポーツや活動をすることで縦のつながりをより深くすることができた。
- 職場体験学習がコロナ感染防止対策のため、職業人講話を3学年で実施し、将来についての考えや自分の夢に近づいていくためにはどうすれば良いかを考えることができた。
- 更に、将来の夢や進路選択の幅が広がるよう、全学年でキャリア教育の充実を図っていきたい。
- 部活動については、新型コロナウイルス感染症の状況により、入場制限など様々な措置がとられている。常に感染防止対策を徹底して大会等へ参加していきたい。

【連携】 保護者や地域に信頼される学校をつくるために、学校からの積極的な情報発信を行うとともに、双方向的な情報の交換を充実させて、地域とともにある学校づくりに努める。

1 主な取組

- ◇ 学校だよりや学級通信、及び保健だより、給食だより等の継続的な発行
- ◇ 学校ホームページの充実
- ◇ 安心・安全メールの効果的な活用
- ◇ 参観日での学級懇談会の充実
- ◇ 民生委員訪問の実施
- ◇ 諸塚村内放送（11チャンネル）の活用

2 成果と課題

- 学校だよりを初めとする各種のたよりを定期的に発行させたことで、学校からの情報を積極的に発信することができた。
- 学校ホームページにおいて、継続的な更新に努めることができた。本年度も閲覧数が順調に伸びている。
- 教育委員会の協力で、緊急時の保護者への連絡する体制を整備することができた。
- ▲ 新型コロナウイルス感染症の対策で地域の方と接する機会が減ったが、11チャンネルを活用し、地域の方々へ文化発表会の様子などを発信できた。今後も、このような状況の中においても、双方向的な意見交換や発信ができるよう工夫していきたい。